



I o s—O
P
OD WASTE or SAVE
THE FOOD (フードロ
スタータプラットフォーム)
を務めるシッ
プデータセン
ター (Ship
PDC) の太
田垣由夫・経
営アドバイザー
 (元ジャパ
ンマリンユニテッド副
社長) は、同サービスに
対する講評で「非常に広
い日本のEEZ (排他的
経済水域) ではまだ経済
活動があまり行われてい
ない。この船ができれば、
海上、海中 (漁業など)、
海底 (資源開発など) と、
EEZ内の経済活動が加
速されるのではないか」
と語った。

このほか、「NO FO
OD WASTE or SAVE
THE FOOD (フードロ
スタータプラットフォーム)
を務めるシッ
プデータセン
ター (Ship
PDC) の太
田垣由夫・経
営アドバイザー
 (元ジャパ
ンマリンユニテッド副
社長) は、同サービスに
対する講評で「非常に広
い日本のEEZ (排他的
経済水域) ではまだ経済
活動があまり行われてい
ない。この船ができれば、
海上、海中 (漁業など)、
海底 (資源開発など) と、
EEZ内の経済活動が加
速されるのではないか」
と語った。

なだけ使える脱炭素社会
実現が目的。陸上と異な
り、安定してクリーンエ
ネルギーを提供できる点
などが特徴となる。
同船は、AI (人工知
能) などを活用して発電
効率の良い場所を探し、
移動することが可能。さ
らに、海水から水素を取
り出すことで、水素バン
カリング (燃料供給) 船
としての機能も見込む。

海事と異業種でアイデアソン

I o S—O P

社会課題解決策を創造

I o S (船のインター
ネット) オープンプラッ
トフォーム (I o S—O
P) コンソーシアムは24

た。海事産業と他産業が
持つ技術やビジネスモデ
ルなどを掛け合わせ、社
会課題の解決に向けたア

備などを載せた「発電て
んこもり船」などの新サ
ービスを5チームが創造
した。

25日、「海事×異業種
オープンイノベーション
・アイデアソン」を開い

だ。第4回の今回は、風
力・太陽光・水力発電設

Aチームが発表した
「発電てんこもり船」は、
誰もが自由に電気を好き